

四 生活の苦しみ

今日の坑夫の生活を幸福にして楽しみ多しと謂ひ得やうか。勞銀は物價の騰貴に伴はず、労働時間は長きに過ぎて、家庭的平和を樂しむ隙も無い。坑夫特有の勇敢な精神も生活の苦しみの中にはしほれるであらう。或はよろけとなり、或は廢疾となつても資本家は充分の扶助をしない。安全燈を便りに暗黒の坑道に労働する諸君の生活は楽しみよりも苦痛多しと謂はざるを得ないのである。

五 採鑛方法の進歩と災害の増加

今日の鑛山では採鑛方法が非常なる進歩をなし鑛石の産出は年々増加しつゝある。これは非常に結構なことである。鑛石は人間の生活に大事なものであるから出來得る限り多量の生産をしなければならぬ。今日の如く採鑛方法の進歩したのは一に科

學的研究の盛なることに原因するのであつて吾人は學問に深き感謝を捧げなければならぬのである。

然しながら鑛山に於て瓦斯の爆發や落盤等の事故に依つて坑夫の負傷することは減少せずして増加しつゝあるのである。而して其原因は資本家が坑道設備の費用を惜むに依ることが多いのである。鑛山の係員が災害防止設備の費用を要求しても會社の重役等は是を無駄な費用として與へぬことが多いのである。かくて諸君は生命の安全をも保證されぬものだと言つてよい。

第四章 將來の鑛山

一 歴史は繰り返す

歴史は繰り返すといふ古い言葉がある。其れは昔あつたことが將來再び現れてくるといふ意味である。社會の組織についても同様のことが言へるのである。今